

○全国や県と比べて、子どもたちは友だちと満足した関係が築けている割合が高い結果でした。また、昨年度と同様に他者を信用することを基礎として、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている割合も高く、日常において相互に相手を大切にしよう関係ができているといえます。(①・②)

○地域行事への参加は、毎年度、全国や県と比べて肯定的な回答が多く見られます。これは、東員町の子どもたちに関わる人たちが愛情をかけて育てていることのあらわれです。(③)

○困りごとや不安があるときに相談できる値が高く、学校が子どもたちにとって安心感がある場所であることがいえます。(④)

○「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」項目の肯定割合が全国や県と比較して高いことから、授業を含む様々な場面で主体的に学ぶ機会が充実していると捉えています。自ら取り組んだ経験が多く、このことが自己肯定感の向上にもつながっています。(⑤・⑥・⑦)

○「自分にはよいところがある」の項目では、昨年度と同様に、全国や県と比べて、小学校と中学校とも高い値になっています。16年一貫教育プランに基づき、『自己肯定感』を高める取組を、子どもたちに関わる人たちが途切れなく行っていることのあらわれです。(⑧)

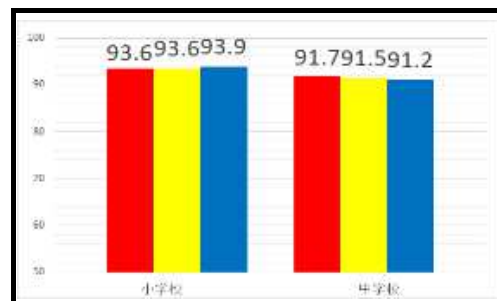
○東員町では、学校に行くことが楽しいと思える子どもが多く見られます。これは、仲間と共に安心して学校生活を送ることができているあらわれです。(⑨)

○昨年度と同様に、全国や県と比べても、将来の夢や希望をもって、意欲的に日々生きている子どもや、人の役に立つ人間になりたいと思える子どもが多く見られます。将来を描けるということは、目標となる大人像が身近にあることや、毎日を主体的に生活できていることのあらわれだととらえています。(⑩)

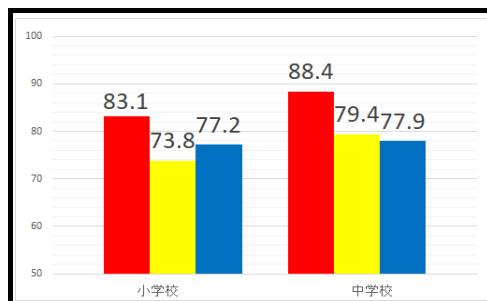
○昨年度と同様に、人の役に立ちたいと思える子どもが多く、中学生の割合が高くなっていることは、東員町の教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力(自己実現と社会の発展に貢献する力)」の実現に向かって前進しているととらえています。また、他者との関わり新たな考えを得ることを肯定的にとらえており、学校という集団で学ぶ機会のメリットがあらわれています。(⑪・⑫)

子どもの権利に関すること

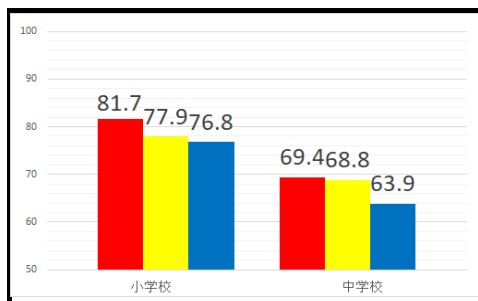
⑬ 朝食を毎日食べていますか
(している・どちらかといえば、している)



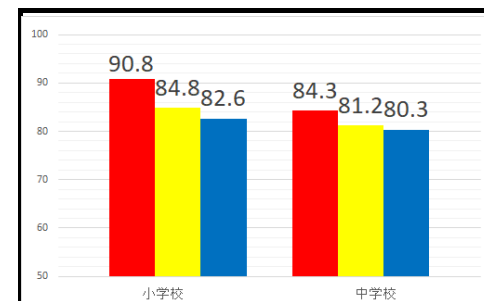
⑭ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか。
(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



⑮ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



⑯ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。(当てはまる)



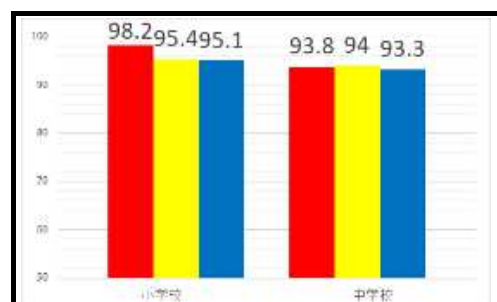
○東員町『子どもの権利条例』には、①愛される権利 ②守られる権利 ③育つ権利 ④共に生きる権利 ⑤自分らしく生きる権利 ⑥意見を表明し参加する権利 の6つが掲げられており、子どもたちの大切な権利が尊重されています。毎朝、子どもたちが朝食を食べて元気に一日をスタートすることはとても大切なことです。東員町のほとんどの子どもが「朝食を食べている」という回答をしていることは、乳幼児期から「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に、基本的生活習慣の確立に力を入れてきた成果といえます。一方で、昨年度より中学生の値が4%低下していることが課題です。(⑬)

○問題や課題に対して、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている割合が高く、小学校から他者との関わりや他者の考えを大切にしながら、日常生活を送っている様子が見えます。昨年度と比較して、小学校の値が高くなっており、小学校での授業改善の成果だととらえています。また、学級内(学校内)だけでなく、地域や社会をよりよくしたいという思いが持てる子どもの割合が多く、子ども自身が地域社会の一員としての意識が高いことがあらわれています。同時に、子どもの自主性・自律性・公共性も育まれています。(⑭・⑮)

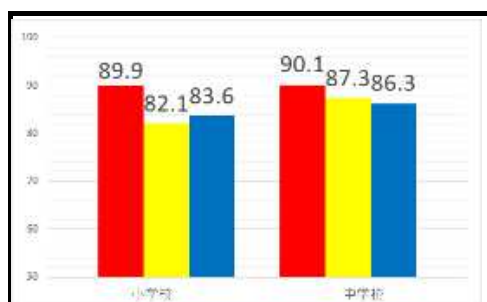
○東員町のほとんどの子どもは、“いじめは絶対に許さない”という態度を持ち生活しています。昨年度に比べて、小中学校とも値が向上しています。これからも、すべての子どもたち一人ひとりが大切にされ、大人に見守られながら、生き生きと生活できるように、東員町では「子どもの権利」の保障に努めていきます。(⑯)

学校生活や学習に関すること

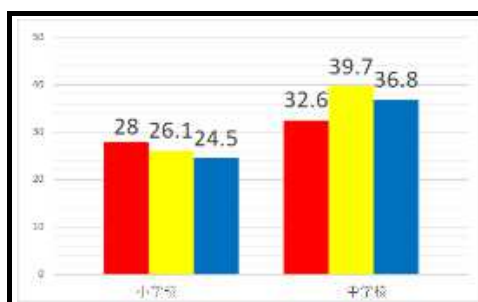
⑰ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思いますか。(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



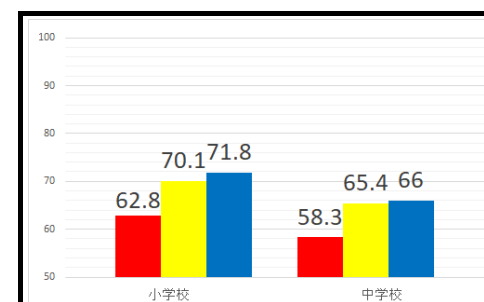
⑱ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



⑲ 学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(全くしない)



⑳ 読書は好きですか。
(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



○GIGAスクール構想が始まってから、ICT機器整備やICT支援員の配置に取り組んできました。ほぼ100%近くの児童が、ICT機器は勉強の役に立つと回答しており、子どもたちにとってICT機器が身近な道具であり、学習に役立つ価値あるものであると実感を得られたものととらえています。(⑰)

○道徳の授業では、全国値より話し合い活動に参加している児童生徒が多く、他者との関わり合いが毎日の授業で行われていることがあらわれています。(⑱)

○読書は、乳幼児期(乳児・園児)から「朝読書(絵本の読み聞かせ)」「読書登山」に取り組み、読書が習慣化されています。小学校では授業での読書活動とともに、学校図書館専門員と連携し、子どもたちの読書の充実に努めていきます。しかし、「全く読まない」と回答している割合は県や国の値より高く、「読書は好き」と回答している割合は、県や国の値より低くなっています。昨年度までの新型コロナウイルス感染症防止対応で、図書室の利用制限などにより、読書習慣に影響が表れたのではないかととらえています。(⑲・⑳)

児童生徒質問紙からみえてくる東員町の子どもたち(令和5年度)

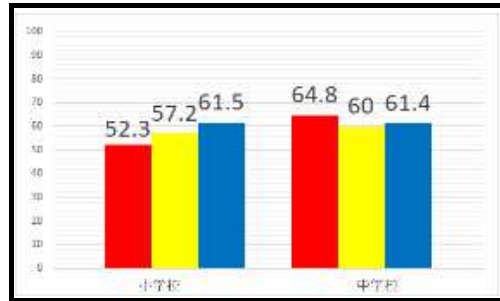
東員町

三重県

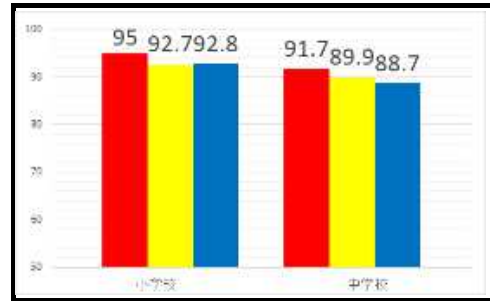
全国

③

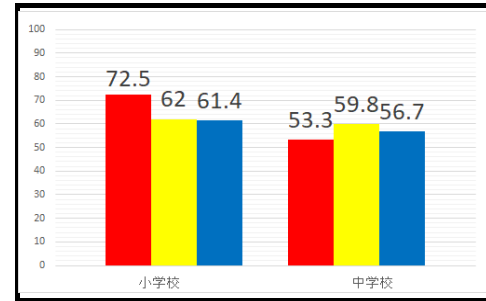
㉑国語の勉強は好きですか
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



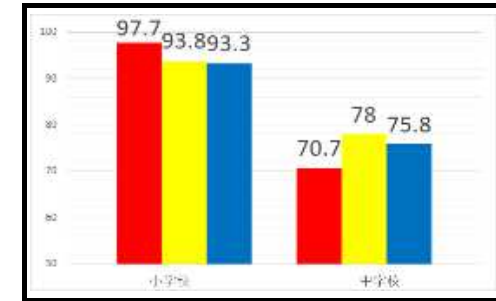
㉒国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



㉓算数・数学の勉強は好きですか。
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



㉔算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)

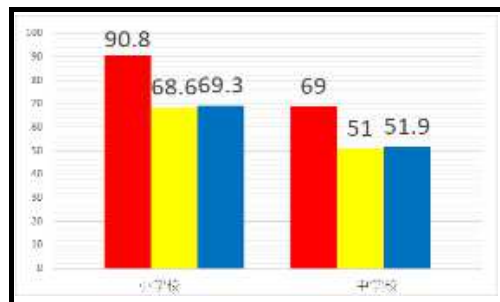


○国語と算数(数学)の勉強が好きかという問いには、小学校の国語以外は県や国と大きな差は見られませんでした。しかし、英語の勉強が好きかという問いには、小学校において県や国より、約20%も高い値となりました。これは、小学校の外国語教育に専科教員を配置し、中学校での英語学習に連携した学びができてきている結果だととらえています。また、英語の学びを、将来の生活とつなげて前向きにとらえることができていることも東員町の大きな特徴です。(㉑~㉔)

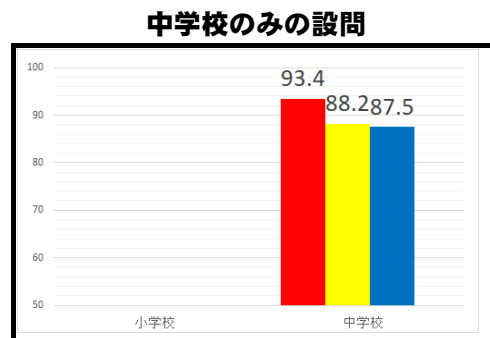
○小学校で休日に勉強を全くしない割合が、昨年度と同様に、全国に比べて高い傾向があります。一方、中学校では全国や県と同程度でしたが、昨年より増えています。家庭学習は、学校の授業で学んだことを振り返ったり復習したりすることで理解を深めるために必要な活動です。各教科の基礎的な問題(漢字の同音異義語等)の正答率が低いことは、家庭学習の実態と関連があるのではないかととらえています。家庭学習の方法や意義を改めて説明することや、オンライン教材の活用を推進することで改善を図ります。(㉕)

学校生活や学習に関すること

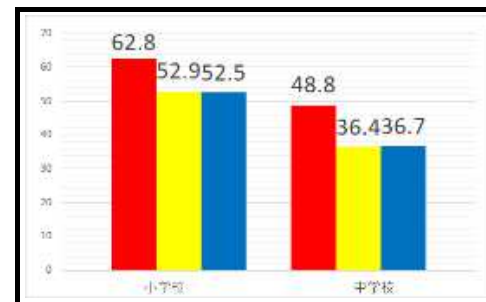
㉕英語の勉強は好きですか
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



㉖英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか。
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



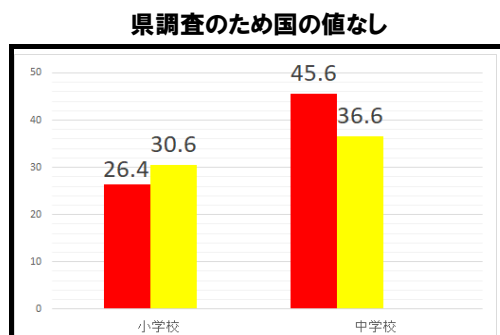
㉗将来、積極的に英語を使うような生活をしたたり職業に就いたりしたいと思いますか。
(当てはまる,どちらかといえば当てはまる)



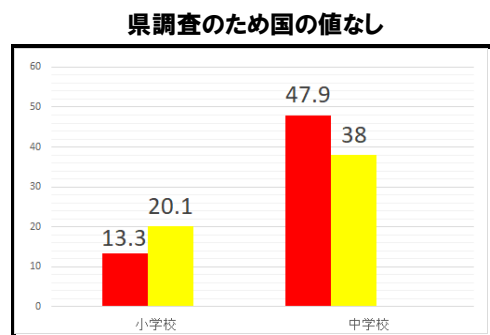
㉘土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾、家庭教師、ネット学習含む)(全くしない)



【みえスタディチェック】
㉙普段(月~金)、1日あたりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。(3時間以上)
対象:小学5年生・中学2年生



【みえスタディチェック】
㉚普段(月~金)、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。(3時間以上)
対象:小学5年生・中学2年生



○中学校では、平日の携帯電話やスマートフォンでのSNSや動画視聴時間が、県の値より10%程度高くなっています。このことは、睡眠時間や学習時間に影響が出ている可能性があるかととらえています。(㉙・㉚)

○同時に小学校高学年から中学校にかけて、ネット上でのトラブル(特にSNS)が起こっています。児童生徒が使い方や危険性を学ぶ機会を設けると共に情報発信を、保護者に向けて積極的に行っていきます。(㉙・㉚)

令和4年度

